

NEWS RELEASE

2010年9月27日

北海道電力株式会社殿初のメガソーラー発電所向け

パワーコンディショナを受注

株式会社ダイヘン(取締役社長:田尻哲也 以下、ダイヘン)は、このたび、北海道電力株式会社殿(以下、北海道電力)より、同社が北海道伊達市の伊達発電所構内に建設する「伊達ソーラー発電所」向けに、250kWパワーコンディショナ5台を受注いたしました。

「伊達ソーラー発電所」は、北海道電力が検討を進めている大規模太陽光発電導入の一環として、同社が初めて建設する大規模太陽光発電所であり、2011年6月の営業運転開始が予定されています。当発電所の発電出力は1000kWで、運転開始後の年間発電電力量は一般家庭約300軒分の電気使用量に相当する約100万kWhになると見込まれており、これによるCO₂の排出削減効果は、年間約500トンの見通しです。(※)

(※)2010年7月23日付 北海道電力プレスリリースより

ダイヘンがこのたび受注したのは、耐塩仕様の屋外収納箱に収納した250kWパワーコンディショナ5台で、電圧変動抑制機能を備えた発電出力1000kW相当の設備となります。

これらの製品は2011年1月に納入を行なう予定です。

今回の受注は、関西電力株式会社殿が建設を進めている「堺第7-3区太陽光発電所(仮称)(発電容量10000kW)」に次いで、メガソーラークラスにおいて当社ブランドで納入する2件目のケースとなります。

ダイヘンでは、今後も引き続き太陽光発電用パワーコンディショナをはじめとする環境関連機器分野の事業拡大に取り組み、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

以上